



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：山田 安隆 幹事：大村 精二

会報委員長：清水 忠

1975・1月9日

第31号

“手取ダムの建設”

石川県知事 中西 陽 一氏



政治は水を治めることから始まった。

黄河しかり、ナイルしかり、チグリス・ユーフラデスしかり。わが石川の手取川も同じである。藩政時代以来、手取の水との斗いに命をかけ続けて来た地元民にとって、之を治めることは宿年の血の出るような願いであった。

そういった意味で、昨年11月に起工式を挙げた手取ダムの建設は、石川県政史上特筆すべき大事業である。1千5百億の巨費を投じ、日本一の規模を誇るこのダムが、金沢を初め70万の人に豊かな水を送る日も遠くないであろう。

しかし、政治のあり方は歴史の流れと共に変貌しつつある。

戦後をふりかえってみても、当初は農林事業や災害復旧に政治の重点があった。その後の10年は経済成長と共に、港湾、道路、河川等産業基盤の造成に力点に移り、更に現在は心の安らぎを求める人間福祉に移ろうとしている。

そういった流れの中で、私は手取ダムの建設を、単なるエネルギーの確保や工業用水や農業用水や洪水防止という目的だけではない、住民の生活の糧となる「水」を供給することに力点を置き、自然との対話を失わないために景観保存のロックファイルダムとして計画した。

手取の水が、県民の心と生活に、うるおいと安らぎを与える日の一日も早からんことを念願してやまない。

—金沢北RC例会卓話より— (文責 清水 忠)

私の職業奉仕

吉田 昭 炳

顔が違うように人それぞれ人生観がちがひ、願ひごとの異うのは当然のことである。

しかし歴史に名を残し、ながく顕彰されて来た人たちに共通することは他の誰よりも大きな願ひを發した為め倚人と云われ、狂人のように扱われ、迫害を受けながらも自ら信ずる道に雄々しく殉じて行つたことである。

だから人物が大きいか否かは發願の大小、祈りの有無、行動の持続性に正比例すると云つても過言ではない。

私が愛読しているジャータカ物語に次のような話がある。

ある森の中にキジの母子が住んでいた。子供は生れて間もないので飛び立つこともできず、目も開いていない。そんなある時山火事がおこり、火はみるみるうちに森に近づいて来る。お母さんキジは身の危険を知るやすぐ近くに流れている谷川で両翼を水にひたし、森の上に来て両翼のしづくを落とし火を消そうとする。矢のように谷川に降り、矢のように森の上に飛んで行く。こんなことを数千回繰り返すので身体は傷だらけになる。

帝釈天はお母さんキジの行動に深く感激し、大雨を降らし森の火を消し止めたので母子キジは静かな森の中でいつまでも楽しく、平和な生活を送ることができたと云うのである。

お母さんキジが森を守ろうと發願し、不惜身命たゞ行動し、祈り続けるその姿の中に職業奉仕の理念が躍如として顕われている。

發願の無い人には行動や祈りも無い。従つて職業を通じて世に奉仕しようとする意欲も湧かず、ロータリアンとしての資質の向上も望めない。

某大学の社会科学研究室でどんな職業が将来有望か、どんな職種が斜陽化するか調査し、その結果を發表していたが有望な職業として医師、宗教家、弁護士、実業家、教育者、芸術家、政治家、新聞記者その他いろいろ列記している。

有望な職業の二番目に宗教家をあげ、その反面斜陽化する職種の三番目に僧侶とある。

大いに反省、熟慮しなければならない。

お母さんキジのような超我の奉仕こそ僧侶が宗教家となる最も大切な要諦を端的に教えているように思う。

住職、幼稚園、保育園、善隣館、梵人会などの責任者として、また関係している諸団体の役員として今年こそ發願し、行動し、祈り続けて行こうと決心している。



小立野善隣館

ロータリーほど、崇高なる目的、遠大なる理想をもつものは、この世の中に存在しない。

ロータリアンは、品性高潔、事業上令名ある一業一人の輝しき原則の中に選ばれている。

ロータリアンは、その誇りを堅持し、職域の浄化、社会奉仕に献身しなければならない。

随想「わが、お正月の今昔」

—明けましておめでとう—

しばた・さぶろ

「正月は暎土の旅の一里塚、めでたくもあり、めでたくもなし」と、いう一休禪師の名句もあるが、この歳になっても「やっぱり、お正月はいいもんだなァ」と思う。わが世の春を謳歌とはゆかぬまでも、思いきり背のびして、ほのほのとした和気にひたれるからである。

母が歳の市で、あれこれと選んだであろう心尽しの紺の足袋と、黒い爪掛けに白いはな緒の足駄が、毎年、型の如く恒例のように大晦日に、全家族のものと共にならべられるのである。年毎に足袋と足駄が一段づつ大きくなってゆくのも、子供心の喜びであり、成長を待つ母の最大なる喜びでもあったろう。

明くれば元旦、私にはいつも兄貴の着古しではあったが、定紋のついた黒木綿の羽織と、小倉縞の袴に、くだんの新しい履物で、学校の四方拝式に臨むのである。こんな時代風俗は、私の年輩頃までのことであろう。小学校時代の嬉しい礼装であった。

折しも、薄化粧したように、チラッと降った雪に元朝の陽光が映えて、戸毎の日の丸も、あちこちの門松も、ひとしお一陽来復の新春を寿ぎて、身も心も脱皮したように清気に満ち満ちた。学校の講堂で高らかにうたった“年の始め”の歌も、心の奥底にやきついて忘れられない、なつかしい思い出である。

今は、子供の時から靴に洋服。活動的ではあるが味気ない服装に変わった。民主主義(?)のおかげで国旗を出す家もまばらとなり、せちがらい世相は、門松を廃しましょう。年賀は虚礼だ。と、あれもこれも悲壯に合理化されてしまった。……今の小学生に、いきなり紋付き羽織に袴、足袋と高下駄で歩くかせて見たら、さぞ……と、意地わるい微笑を禁じ得ない。

社会への第一歩をこの道に入って、人に使われ、仕事に使われ、365日を720日に精魂かたむけた往時は、除夜の鐘を聞きつつ仕事納めをし、大掃除を了える頃には元日の朝がしらむのが通例。しかも正月は3ヶ日が精いっぱい。もう戦いは待っていた。電話のベルが鳴り出す、忘れようとしていた銀行利子の鼓動も大きく響いて来る。かくして720日の第1日が始まったのである。

思えば夢のようである。近頃は時勢のおかげ(?)で、有難い。お正月の前奏曲も数日ある。暖房のなかで紅白歌合戦を楽しみつつ、各地の除夜の鐘へと番組は移ってゆく。こう……ありがたづくめでいいのだろうか。

いま世界には、飢餓に苦しみながら消えてゆく難民は驚く数であるという。合理化変じて豪利禍を巻き散らかして狂乱物価に便乗の油をそそぐ人種も多くある。さて……どうしたものか。

ささやかに、“和敬静寂のおうす”なりといただきながら、やがて去りゆく年を惜しみつつ、遠く近く流れ来るほんものの百八の鐘に、静かなる耳を傾け、謙虚な希望をのせて、明け来る新春を寿ぎ、友に、職業に、社会に思いを寄せて、たとえ、三日天下でもいい、ロータリアンらしいロータリアンへと近づきたいものである。(今年は賀状を休みました。よろしく)

第61回例会 会員・家族合同親睦例会

- ◆12月19日(休雪) ホワイトハウス 18:00~20:30
 1. 出欠 会員 出席33名、7名欠席
 出席率 82.50%
 家族 出席数67名 計 100名出席
 2. 会員・家族合同親睦会



3. 今日のニュース

三菱水島製油所から重油流出、130軒の油の帯が瀬戸内海をなめつくす。漁業被害 300億をこす。

第62回例会 金沢東・北RC合同例会

- ◆12月26日(木)雨 ホワイトハウス 12:30~13:00
 1. 卓話 "中国を旅して"
 金沢市助役 江川昇氏
 2. 出欠 出席35名、欠席5名
 出席率 87.50%
 金沢東RCより49名出席



3. 来訪者
 小松RC 伊藤清雄君
 金沢RC 宮田実君
 江川昇君、松本静夫君
 森勇夫君

金沢西RC 坂本宗一郎君、疋田秀男君
 金沢南RC 片山豊作君、高桑明君
 清水礼二君、川原善二君

4. 会務 社会奉仕委員会 共同募金について若野委員長より報告。
 12月25日午後1時30分社会福祉センター4階に於いて贈呈が行われ、若野委員長が代表出席。
 国際奉仕委員会 マレーシア留学生 紀宋金さん奨学金の御礼。
 5. ニコニコボックス ティラウンチ華厳(片町)開店につき 松本智君
 6. 幹事報告 新春第一例会 1月9日(木)ホワイトハウス例会変更 金沢南RC 12月31日の例会を27日に変更。
 名張RCより10年誌受領。
 7. 子供が選んだ今年の3大ニュース

1. 巨人軍長島選手の現役引退と監督就任。
 2. 三菱、三井本社の爆弾事故。
 3. 生きた英霊小野田さんルパン島で発見さる。

12月例会出席状況

(平均出席率 100%)

会員名	月日	12/5	12/12	12/19	12/26	12月	会員名	月日	12/5	12/12	12/19	12/26	12月
浅田 豊久	M	○	○	○	○	◎	桜井 健太郎	M	○	○	○	○	◎
東 元 潔	○	○	M	○	○	◎	柴田 三郎	M	○	○	○	○	◎
平尾 信明	○	○	○	M	○	◎	清水 忠	○	○	M	○	○	◎
本江 他美夫	○	○	○	○	○	◎	塩村 喜代次	○	○	M	○	○	◎
泉 武 義	○	○	○	○	○	◎	高田 全	○	○	○	○	○	◎
上 次 作	○	○	○	○	○	◎	俵 外 代吉	○	○	○	○	○	◎
笠 間 恒次	M	○	○	M	○	◎	土原 一二	○	○	○	○	○	◎
木田 忠男	M	○	○	○	○	◎	釣見 栄一	○	○	○	M	○	◎
木島 光仁	○	M	M	○	○	◎	若野 三朗	○	○	M	○	○	◎
小林 隆二	○	M	○	○	○	◎	山田 淳	○	M	○	○	○	◎
越野 民男	○	○	○	○	○	◎	山田 安隆	○	M	○	○	○	◎
小杉 守男	○	○	M	○	○	◎	山上 啓介	○	○	○	○	○	◎
小杉 善二	○	○	○	○	○	◎	山岸 与作	M	○	○	○	○	◎
宗田 市太郎	○	M	○	○	○	◎	米沢 繁男	○	○	○	○	○	◎
長野 幸雄	M	M	○	M	○	◎	米沢 修一	○	○	○	○	○	◎
大場 勝雄	○	○	○	○	○	◎	吉田 昭炳	○	M	○	M	○	◎
岡部 三郎	○	○	○	○	○	◎	由井 賢一	M	M	M	○	○	◎
岡田 林太郎	○	○	○	○	○	◎	松本 智	○	○	○	○	○	◎
大海 徳二	M	M	○	○	○	◎	中村 省三	○	○	○	○	○	◎
大村 精二	○	○	○	○	○	◎	吉山 宥海	○	○	○	○	○	◎